



SHIRLEY MacLAINE
ANTHONY HOPKINS
BO DEREK
Directed by RICHARD LANG

女子大生リンジー20才……パパの恋人
建築家ピート26才……ママの恋人
そのとき、娘のケイシーは19才！

LOVE シーズン

A CHANGE OF SEASONS



シャリー・マクレイン
アンソニー・ホプキンス
ボー・デレク
メリー・ベス・ハート
マイケル・ブランドン
エド・ウィンター



製作マーチン・ランソホフ
監督リチャード・ラング
原案／脚本エリック・シーガル
撮影フィリップ・ラスロップ
音楽ヘンリー・マンシーニ
主題歌ケニー・ランキン

アメリカ映画〈カラー作品〉日本ヘラルド映画





「クレイマー・クレイマー」
「普通の人々」そして…
これがアメリカン・カップルの
最新事情！



妻と教授と女子大生……
冬の山小屋で何が起きた！

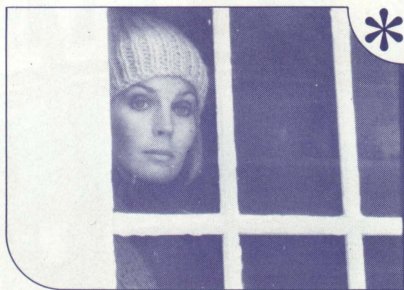
ロマンチックで不道德、そしてちよつぱり深刻な4人の恋人たちの愛の駆引き。これは「普通の人々」とは違ったコメディ・タッチで、男と女の変わりゆく関係と、ファミリーの問題にソフトなメスを入れた快作です。

原案・脚本は「ある愛の詩」の人気作家エリック・シーガル。監督が新鋭リチャード・ラング。製作は「大陸横断超特急」「ワンダラーズ」のマーチン・ランソホフ。

主演はケンタイ期を迎えた大学教授カップルに「愛と喝采の日々」「チャンス」のシャリー・マクレインと「マジック」「エレファント・マン」のアンソニー・ホプキンス。夫の恋人に「10」の超グラマー、ボー・デレク、妻の恋人に「ふたりの誓い」のマイケル・ブランドン、夫妻の娘に「インテリア」のメリー・ベス・ハートという豪華な顔ぶれ。特にNYデイルー・ニューズはマクレインを「近年のベスト・ロール、ベスト演技」と絶賛しています。

バーモントの大学で英文学の教鞭をとるアダム・エバンス（アンソニー・ホプキンス）は、結婚21年の妻カレン（シャリー・マクレイン）の目を盗んで、グラマーな教え子リジー（ボー・デレク）と浮気中。「賢妻」カレン、ある日突然と夫を問い詰めたところ、彼、意外やあつさりと言ひ。「騙し通してはなかった」という妻に、「ただの浮気じやないか」と言い訳する夫。永い奉仕の年月は何だったのか。顔に出さねどショックのカレン。そこで腹いせに建築家ピート（マイケル・ブランドン）を若いツパメ（！）に選んだ。妻の反撃に内心微妙な教授。やがてカレンの提案で、2組の恋人たちが週末の休暇を雪の山荘で過ごすことになったから、事態はさらに複雑怪奇？と、そこへ夫妻の一人娘ケイシー（メリー・ベス・ハート）が恋人に振られて駆けこんできた！さあどうするパパとママ……

A CHANGE OF SEASONS LOVE シーズン



気分はゴージャス、マンシー・メロディと冬山ファッション

音楽は「ピンク・パンサー」「10」の大御所ヘンリー・マンシーニ。アラン&マリリン・バーグマン作詞による主題歌「明日行きのバス」を、ステイ・ポップスの人気者ケニー・ランキンが歌い上げ、ムーディーな味付け。また、シャリー、ボーの二女優がさりげなく着こなすウインター・ルック（デザイン、パトリシア・エドワーズ他）、名手フィリップ・ラスロップのカメラが捉えたカナダ・スキ・リゾートの景観もゴージャスな見もの。

愛のビナス・ボー・デレクの魅力！！

エバンス教授じやなくても、こんなお色気ムンムンの女子学生なら、ちよい浮気の虫を起こしたくなるというのがリジー役ボー・デレク。「10」で一躍人気ふつと申し、この作品では演技力も増して、さらにその魅力はグレイド・アップ。中でもタイトル・バックの幻想的なホット・バス・シーンでたつぷり見せる美事なバスト・ラインは、モトをとるには、十分な迫力。ペテラン、マクレインと対照的な女の魅力を競っています。



近日ロードショー

●特別鑑賞券1200円(一般1500円 学生1300円)の処

発売中!

国電有楽町下車

丸の内松竹 (201) 3720

伊勢丹ナナメ向い

新宿京王地下 (356) 3518

上映時間

平日	12:30	2:40	4:50	7:00
日・祝	10:35	12:30	2:40	4:50